



すずしろ 22 2023 10 月報

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況

9 月の援農集計

	援農時間 (h)	参加人数 (人)	参加延べ人数 (人)	農家数 (軒)	累計援農時間 (h)	累計参加延べ人数 (人)
2023 年 9 月	1,865	67	526	23	17,702	4,912
2022 年 9 月	1,608	64	456	22	16,395	4,504
増減	+257	+3	+70	+1	+1,307	+408

9 月は、カブ・生姜・オクラ等の収穫・出荷作業の他、稲刈りの援農も行なわれました。また、夏野菜の片付け作業に続いて、小松菜、大根等の冬に向けた野菜の植え付け作業などの合間にいつもの草取り作業と、8 月に続いていそがしい月となりました。

援農時間は 1,865 時間となり、昨年同月比では 257 時間の増、年間累計では 1,307 時間の増となりました。9 月のいそがしさは、この数字にも表れております。

その一方、1 回あたりの援農時間は、3.55 時間（8 月は、3.78 時間）に減少しております。援農参加者は 67 名と多く、会員の 6 割近くの方が援農に参加しております。まさに全員援農の様で、とても良い状況かと思えます。

10 月も半ばを過ぎ、木々の葉も色づいてきました。ほっと一息のこの頃ですが、



長かった暑さの疲れ「秋バテ」や朝昼の温度差による寒暖差疲労が出る頃です。また、コロナやインフルエンザにも注意が必要です。「天高く馬肥ゆる秋」、そして「援農の秋」ではありますが、安全を最優先の『安全援農』への協力もよろしくお願いいたします。（援農サポータ北尾）

理事会報告

10 月度理事会(10/19(木) 17:30~20:30 台町市民センターにて。9 名)

- ① 市民農園、区画を分割しての貸出しは行わない。
- ② 農家会員が代替わりした場合は名義変更手続きを行い、新たな年会費はいただかない。
- ③ 援農作業中、地面のくぼみに気づかず台車に乗り、台車が傾き、すねに外傷を負う事故が発生、保険適用となった。
- ④ 小比企地区農園に井戸を掘る計画は、令和 6 年度の活動方針とする。



お知らせ

- ① 農家会員の北原勝平様が、9 月にご逝去されました。ご冥福をお祈りします。
- ② 11/18(土)、19(日)『八王子いちよう祭り わくわく広場コーナー』（長房市民センター河川敷）に出店します。雨天決行。駐車場なし。販売のお手伝いを募集します。
日時：18 午前 1 人、午後 1 人、19 午前 2 人
問合せ・申込み：糠信（090-2218-8892、nijiir.happy.happy.everyday@gmail.com）
- ③ 令和 6 年度通常総会を 2/25(日) 13 時半より開催します。予定に入れて頂けますようお願いいたします。総会案内や議案書は、メール添付可能な方には、メールで送信させて頂きます。



野草あれこれ

シュウカイドウ (秋海棠)

シュウカイドウ科シュウカイドウ属

中国、マレー半島原産で、江戸時代に渡来した。寒冷地の戸外でも球根で越冬できるので、日本各地で半野生化している。草丈は 40~50 cm。葉は先がとがった広目のタマゴ形で、秋には長い花柄をもった花が数個まとまり、下向きにたれ下がる雌雄異花（黄色い葯が見えるのが雄花、貝殻のような大きな花が雌花）。名前の由来は、秋に海棠（カイドウ=バラ科の低木）のような花を咲かせることから。別名チャイニーズベゴニア。





9月報に続き、『はちっこキッチン』の状況、今後の予定等を紹介します。

八王子市では、2009年の学校給食法の改正に合わせて、「食生活の改善」から『食育の推進』に移行し、「食育推進計画」を策定しました。そして、市内5か所に学校給食センターを開設する計画を立て、2020年から順次学校給食センター『はちっこキッチン』を開設してきました。市は学校給食センターの基本方針として、「温かく美味しい、そして安全・安心な給食を提供することで、食育を推進する」ことを目指しています。また、地元の農家や市内業者から優先的に食材を調達すること、災害時には近隣避難所への食支援を行うことも目標としています。

食材調達方法や目標値、昨年度の八王子産野菜の使用率は、次の通りです。

・食材調達方法

小学校（自校・親子式）	学校長が契約した個人農家・青果店・学校給食納入業者から購入
中学校（センター方式）	給食センター長が契約した青果店・学校供給野菜グループ（JAがとりまとめ、農家50戸）に野菜を発注、市内で賄えない野菜は市場から購入

・地場野菜の使用目標値は30%とし、八王子市産の食材は農産物のみとなっているが、市内の業者から優先購入。それに対し、昨年度の3センター（南大沢、元八王子、元横山）平均の八王子産野菜の使用率は、50%となっています。規格外の野菜の導入も始めており、今後はさらに使用率を伸ばして行きたいとしています。

・市の給食センターは、来年9月稼働予定の「はちっこキッチン寺田」が最後となります（はちっこキッチン寺田の詳細は、下表参照）。



まとめ：この5つの「はちっこキッチン」の稼働により、八王子産野菜の需要がさらに増え、農家さんの活性化にも繋がっています。また我々の活動目標の「援農」や「地産地消」にも大きく貢献し、今後益々「すすしろ22」への期待が広がるものと思われます。引き続き、「はちっこキッチン」に注目して行きたいと思います。



はちっこキッチンの稼働状況と今後の予定

#	名称	所在地	開設	食数 (最大)	給食提供校
1	はちっこキッチン 南大沢	南大沢	20年9月	2,500	5校(由木中、宮上中、松が谷中、別所中、松木中)
2	はちっこキッチン 元八王子	叶谷町	20年9月	2,500	6校(長房中、元八王子中、四谷中、城山中、恩方中、加住小中)
3	はちっこキッチン 元横山	元横山町	21年9月	2,800	5校(第1中、第5中、ひよどり山中、石川中、打越中)
4	はちっこキッチン 檜原	檜原町	23年9月	5,000	11校(第2中、第4中、第6中、第7中、甲ノ原中、横山中、桐田中、檜原中、由井中、浅川中、綾南中)
5	はちっこキッチン 寺田(仮称)	寺田町	24年9月 (予定)	1,500	3校を予定(みなみ野中、七国中、高尾山学園)